

防鹿柵設置により、植物再生・表土流出防止を行い、 妙法の火床を守りたい！

京都五山送り火：「松ヶ崎妙法」

左京区まちづくり活動
支援交付金



表土が流出した火床近辺



宝ヶ池の森に生息するシカ



防鹿柵

目標金額 **120万円** 2021年**11月29日(月)**～2022年**1月21日(金)**まで
＼クラウドファンディング挑戦中／

「妙法」送り火を抱く宝が池の森では、シカの増加により森の植物が衰退しています。
このままでは火床の維持が難しくなってしまうため、「法」の字を柵で囲む防鹿柵
を設置する「法の字プロジェクト」を立ち上げました。

「妙法」送り火を抱く宝が池の森では、この5～6年前から、シカの増加により森の植物が衰退しています。「法」の字の火床にもシカが入り込み、下層の植物が食べられることで表土が露出し、雨により浸食されています。このままでは63基の火床地盤の崩落や火床の倒壊が予測されたため、「法」の字を囲む遮断柵(防鹿柵)を設置することにより、この「妙法」送り火行事を、長期的展望の下で保存継承していくために、「法」の字プロジェクト」を立ち上げました。

第1弾として、昨年度(2020年度)は、鹿の行動分析を踏まえて、東側と西側に南北方向の柵(延長260M)を設置することし、今年3月に完了しました。

第2弾が本年度(2021年度)、京都市(左京区まちづくり支援)及び京都府(地域交響プロジェクト)の交付金交付の採択決定も頂き、プロジェクトに必要な半額を助成いただく予定です。

その助成金と皆様からのご寄付で北側(山頂)と南側(山麓)に、東西方向の柵(延長220M)を設置することにより、火床周辺四方の柵の設置を完成させます。

森の保全・自然環境保護を通じて、送り火の山の保全と松ヶ崎「妙法」送り火行事[京都市登録無形民俗文化財(1983年10月)]の保存継承を図るとともに、地域防災や眺望景観保全にも寄与できることを期しています。

したがって、第2弾に続いて、森の保全・自然環境保護、妙と法が一对の妙法送り火行事の保存継承、寄与策の実施に必要な基金の積み立てを得て、このプロジェクトの更なる展開に取り組んで参ります。

今回クラウドファンディングという仕組みを利用することとした背景としては、京都市、京都府からの交付金助成を頂くものの、所要の財源(総費用の概ね半額)を確保する必要があるからです。皆様には、READYFORを通じて、このプロジェクトに対してご支援を下さいますよう心からお願い申し上げます。応援、どうぞよろしくお願い申し上げます。

レディーフォー 法の字_PJ

検索 🔍



https://readyfor.jp/projects/HOUNOJI_PJ